

ダイワ・ブラジル・ レアル債オープン (毎月分配型／年2回決算型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	ブラジル・レアル建債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ロ. 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。</p> <p>ハ. 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書（全体版）

毎月分配型	第72期（決算日 2014年11月25日）
	第73期（決算日 2014年12月25日）
	第74期（決算日 2015年1月26日）
	第75期（決算日 2015年2月25日）
	第76期（決算日 2015年3月25日）
	第77期（決算日 2015年4月27日）
	年2回決算型 第13期（決算日 2015年4月27日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル・レアル債オープン（毎月分配型／年2回決算型）」は、さる4月27日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4788>

<4789>

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）

★ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）

■最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル(円換算)		公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
48期末(2012年11月26日)	8,366	120	0.5	17,375	0.6	97.5	137,863
49期末(2012年12月25日)	8,584	120	4.0	18,085	4.1	97.1	140,932
50期末(2013年1月25日)	9,298	120	9.7	19,824	9.6	99.2	152,152
51期末(2013年2月25日)	9,751	90	5.8	21,092	6.4	98.4	158,297
52期末(2013年3月25日)	9,583	90	△0.8	20,895	△0.9	98.6	149,850
53期末(2013年4月25日)	10,044	90	5.7	22,270	6.6	98.1	153,765
54期末(2013年5月27日)	9,840	90	△1.1	22,019	△1.1	97.7	148,217
55期末(2013年6月25日)	8,436	90	△13.4	18,996	△13.7	96.9	125,951
56期末(2013年7月25日)	8,653	90	3.6	19,817	4.3	99.1	127,403
57期末(2013年8月26日)	7,928	90	△7.3	18,330	△7.5	98.0	115,143
58期末(2013年9月25日)	8,439	90	7.6	19,914	8.6	98.1	121,661
59期末(2013年10月25日)	8,228	90	△1.4	19,642	△1.4	98.6	117,315
60期末(2013年11月25日)	8,163	90	0.3	19,616	△0.1	98.8	115,803
61期末(2013年12月25日)	8,059	90	△0.2	19,581	△0.2	98.8	112,567
62期末(2014年1月27日)	7,705	90	△3.3	18,977	△3.1	98.9	106,743
63期末(2014年2月25日)	7,927	90	4.0	19,868	4.7	99.3	108,904
64期末(2014年3月25日)	7,865	90	0.4	19,968	0.5	99.1	106,772
65期末(2014年4月25日)	8,330	90	7.1	21,437	7.4	98.5	110,343
66期末(2014年5月26日)	8,318	90	0.9	21,629	0.9	98.4	108,833
67期末(2014年6月25日)	8,336	90	1.3	21,974	1.6	98.6	107,460
68期末(2014年7月25日)	8,382	90	1.6	22,312	1.5	99.1	106,977
69期末(2014年8月25日)	8,352	90	0.7	22,405	0.4	99.3	105,983
70期末(2014年9月25日)	8,339	90	0.9	22,518	0.5	99.3	104,493
71期末(2014年10月27日)	7,854	90	△4.7	21,494	△4.5	98.7	97,911
72期末(2014年11月25日)	8,334	90	7.3	23,034	7.2	98.8	103,281
73期末(2014年12月25日)	7,895	90	△4.2	22,076	△4.2	98.3	96,969
74期末(2015年1月26日)	8,128	90	4.1	23,208	5.1	98.4	99,168
75期末(2015年2月25日)	7,392	90	△7.9	21,139	△8.9	99.1	89,818
76期末(2015年3月25日)	6,652	90	△8.8	19,192	△9.2	98.8	79,791
77期末(2015年4月27日)	7,066	60	7.1	20,609	7.4	98.1	84,413

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

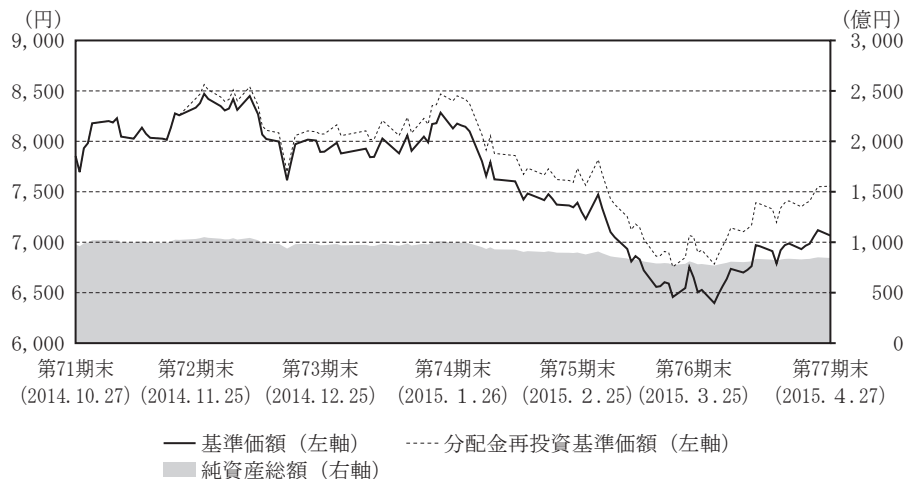
(注2) JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル(円換算)は、JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル(ブラジル・リアルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル(ブラジル・リアルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

■ 当作成期間（第72期～第77期）中の基準価額と市況の推移



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比	債 率 %
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第72期	(期首) 2014年10月27日	円 7,854	% -	21,494	% -	98.7	
	10月末	8,179	4.1	22,361	4.0	98.6	
	(期末) 2014年11月25日	8,424	7.3	23,034	7.2	98.8	
第73期	(期首) 2014年11月25日	8,334	-	23,034	-	98.8	
	11月末	8,420	1.0	23,310	1.2	98.8	
	(期末) 2014年12月25日	7,985	△4.2	22,076	△4.2	98.3	
第74期	(期首) 2014年12月25日	7,895	-	22,076	-	98.3	
	12月末	7,880	△0.2	22,032	△0.2	98.2	
	(期末) 2015年1月26日	8,218	4.1	23,208	5.1	98.4	
第75期	(期首) 2015年1月26日	8,128	-	23,208	-	98.4	
	1月末	8,099	△0.4	23,101	△0.5	98.5	
	(期末) 2015年2月25日	7,482	△7.9	21,139	△8.9	99.1	
第76期	(期首) 2015年2月25日	7,392	-	21,139	-	99.1	
	2月末	7,230	△2.2	20,686	△2.1	99.0	
	(期末) 2015年3月25日	6,742	△8.8	19,192	△9.2	98.8	
第77期	(期首) 2015年3月25日	6,652	-	19,192	-	98.8	
	3月末	6,488	△2.5	18,722	△2.4	98.6	
	(期末) 2015年4月27日	7,126	7.1	20,609	7.4	98.1	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第72期首：7,854円 第77期末：7,066円（既払分配金510円） 騰落率：△3.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格や為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。しかし債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は上下に振れながら、当作成期間を通して上昇（債券価格は下落）しました。2014年10月の金融政策委員会（Copom）において、インフレ懸念から政策金利が上げられ、金融引締めサイクルは再開しました。その後も、インフレ圧力の抑制から継続的に追加利上げが実施されており、金利上昇要因となりました。当期間の前半は、ジョアキン・レビ氏を財務大臣とする新しい経済閣僚による健全な財政運営への期待感などで金利低下する局面もありましたが、原油価格やロシア株式市況の下落などによる投資センチメントの悪化から、他の新興国と同様に金利上昇となりました。当期間の後半は、新政権が発足し財政健全化への取り組みが市場から評価されたことなどから、金利低下する局面もありました。しかし、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題や財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたこと、ブラジル国債の格下げ懸念、またブラジル・リアル下落が追加的なインフレ懸念を強めかねないことなどが、金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円、対米ドルともに大きく下落しました。当期間の前半は、政策金利の引上げにより金利面からのサポートがありましたが、原油市況の下落を受け安全資産への逃避傾向が一時的に強まったことから、リアルは対米ドルで下落しました。2014年12月末にかけては、日銀の追加緩和や日本の衆議院選挙で自民党が勝利したことなどから円安が進行し、リアルは対円で横ばい推移となりました。当期間の後半は、ブラジル経済見通しの低迷等により投資センチメントが悪化したこと、ペトロブラス社の格下げや汚職捜査、政権に対するデモ等がリアルの悪材料となり、大きく下落しました。米国の好調なファンダメンタルズによる早期利上げ観測から米ドル高が進む中、リアル買いの為替介入プログラムが終了するとの見方が台頭したことや、財政健全化が政治的不透明感により遅れていることも重しとなりました。2015年4月にかけては、米国の早期利上げ観測が後退したほか、ペトロブラスが延期していた2014年第4四半期（10-12月）の決算発表を行なうとの期待から上昇しました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

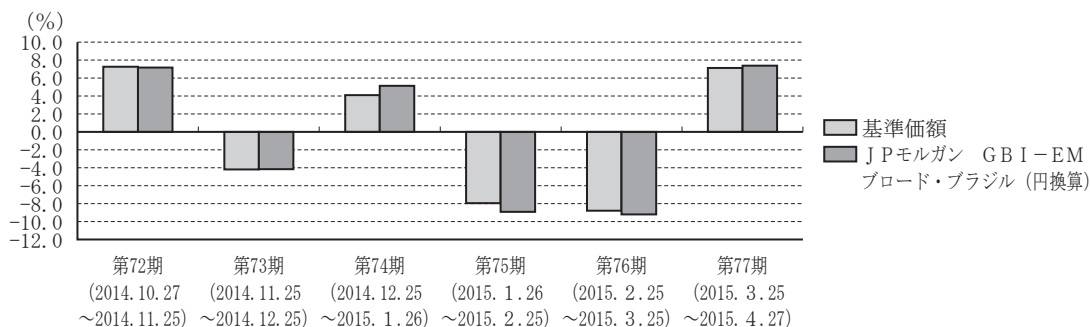
○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債に投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



◆分配金について

【収益分配金】

1万口当り分配金（税込み）は、第72期～第76期はそれぞれ90円、第77期は60円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2014年10月28日 ～2014年11月25日	2014年11月26日 ～2014年12月25日	2014年12月26日 ～2015年1月26日	2015年1月27日 ～2015年2月25日	2015年2月26日 ～2015年3月25日	2015年3月26日 ～2015年4月27日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	60
対基準価額比率（%）	1.07	1.13	1.10	1.20	1.33	0.84
当期の収益（円）	58	49	63	48	43	59
当期の収益以外（円）	31	40	26	41	46	0
翌期繰越分配対象額（円）	387	347	321	279	233	233

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(a) 経費控除後の配当等収益	58.38円	49.57円	63.60円	48.53円	43.09円	59.57円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	52.72	54.85	55.66	57.11	59.93	61.91
(d) 分配準備積立金	366.68	333.10	291.94	264.28	220.42	171.87
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	477.80	437.53	411.22	369.92	323.45	293.36
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	387.80	347.53	321.22	279.92	233.45	233.36

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・リアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期		項 目 の 概 要
	(2014.10.28～2015.4.27)		
	金 額	比 率	
信託報酬	55円	0.718%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は7,597円です。
（投信会社）	(19)	(0.256)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(34)	(0.441)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	7	0.094	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.083)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(1)	(0.011)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	62	0.812	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年10月28日から2015年4月27日まで)

決 算 期	第 72 期 ～ 第 77 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド	10,391	19,669	5,599,206	11,423,081

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況

当作成期間（第72期～第77期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第 71 期 末	第 77 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	48,430,264	42,841,449	84,886,047

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年4月27日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	84,886,047	99.4
コール・ローン等、その他	473,043	0.6
投資信託財産総額	85,359,090	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月27日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=40.28円です。

(注3) ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンドにおいて、第77期末における外貨建純資産（87,417,540千円）の投資信託財産総額（87,531,375千円）に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年11月25日)、(2014年12月25日)、(2015年1月26日)、(2015年2月25日)、(2015年3月25日)、(2015年4月27日)現在

項 目	第 72 期 末	第 73 期 末	第 74 期 末	第 75 期 末	第 76 期 末	第 77 期 末
(A) 資 産	104,533,603,782円	98,313,572,081円	100,509,397,769円	91,112,584,816円	81,101,677,366円	85,359,090,400円
コール・ローン等	152,861,473	1,503,697,825	133,749,608	199,765,832	263,521,972	398,510,332
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド(評価額)	104,380,742,309	96,809,874,256	100,375,648,161	90,912,818,984	80,838,155,394	84,886,047,068
未 収 入 金	—	—	—	—	—	74,533,000
(B) 負 債	1,252,020,679	1,344,106,645	1,340,436,839	1,294,144,224	1,310,010,858	945,666,052
未払収益分配金	1,115,343,339	1,105,475,666	1,098,041,310	1,093,585,940	1,079,495,079	716,742,039
未払解約金	20,817,769	118,290,007	117,672,247	88,768,498	137,071,216	121,256,393
未払信託報酬	115,686,919	119,997,263	124,187,848	111,080,281	92,564,487	106,562,487
その他未払費用	172,652	343,709	535,434	709,505	880,076	1,105,133
(C) 純資産総額(A-B)	103,281,583,103	96,969,465,436	99,168,960,930	89,818,440,592	79,791,666,508	84,413,424,348
元 本	123,927,037,686	122,830,629,590	122,004,590,003	121,509,548,889	119,943,897,718	119,457,006,578
次期繰越損益金	△ 20,645,454,583	△ 25,861,164,154	△ 22,835,629,073	△ 31,691,108,297	△ 40,152,231,210	△ 35,043,582,230
(D) 受益権総口数	123,927,037,686口	122,830,629,590口	122,004,590,003口	121,509,548,889口	119,943,897,718口	119,457,006,578口
1万口当り基準価額(C/D)	8,334円	7,895円	8,128円	7,392円	6,652円	7,066円

*第71期末における元本額は124,669,624,249円、当作成期間（第72期～第77期）中における追加設定元本額は4,728,333,549円、同解約元本額は9,940,951,220円です。

*第77期末の計算口数当りの純資産額は7,066円です。

*第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は35,043,582,230円です。

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）

■ 損益の状況

第72期 自2014年10月28日 至2014年11月25日 第75期 自2015年1月27日 至2015年2月25日
 第73期 自2014年11月26日 至2014年12月25日 第76期 自2015年2月26日 至2015年3月25日
 第74期 自2014年12月26日 至2015年1月26日 第77期 自2015年3月26日 至2015年4月27日

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(A) 配 当 等 収 益	12,053円	16,759円	13,979円	9,696円	11,840円	21,967円
受 取 利 息	12,053	16,759	13,979	9,696	11,840	21,967
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	7,175,931,257	△ 4,161,566,357	4,073,404,432	△ 7,727,204,764	△ 7,635,376,349	5,759,464,475
売 買 益	7,208,913,189	30,974,478	4,087,678,244	46,553,722	136,594,082	5,786,030,309
売 買 損	△ 32,981,932	△ 4,192,540,835	△ 14,273,812	△ 7,773,758,486	△ 7,771,970,431	△ 26,565,834
(C) 信 託 報 酬 等	△ 115,859,571	△ 120,168,320	△ 124,379,573	△ 111,254,352	△ 92,735,058	△ 106,787,544
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	7,060,083,739	△ 4,281,717,918	3,949,038,838	△ 7,838,449,420	△ 7,728,099,567	5,652,698,898
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 15,055,687,639	△ 8,977,267,174	△ 14,232,178,315	△ 11,280,504,975	△ 19,738,210,565	△ 28,160,485,921
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,534,507,344	△ 11,496,703,396	△ 11,454,448,286	△ 11,478,567,962	△ 11,606,425,999	△ 11,819,053,168
(配 当 等 相 当 額)	(653,414,230)	(673,814,246)	(679,146,988)	(694,017,433)	(718,827,502)	(739,662,608)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 12,187,921,574)	(△ 12,170,517,642)	(△ 12,133,595,274)	(△ 12,172,585,395)	(△ 12,325,253,501)	(△ 12,558,715,776)
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 19,530,111,244	△ 24,755,688,488	△ 21,737,587,763	△ 30,597,522,357	△ 39,072,736,131	△ 34,326,840,191
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,115,343,339	△ 1,105,475,666	△ 1,098,041,310	△ 1,093,585,940	△ 1,079,495,079	△ 716,742,039
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 20,645,454,583	△ 25,861,164,154	△ 22,835,629,073	△ 31,691,108,297	△ 40,152,231,210	△ 35,043,582,230
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,534,507,344	△ 11,496,703,396	△ 11,454,448,286	△ 11,478,567,962	△ 11,606,425,999	△ 11,819,053,168
(配 当 等 相 当 額)	(653,414,230)	(673,814,246)	(679,146,988)	(694,017,433)	(718,827,502)	(739,662,608)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 12,187,921,574)	(△ 12,170,517,642)	(△ 12,133,595,274)	(△ 12,172,585,395)	(△ 12,325,253,501)	(△ 12,558,715,776)
分 配 準 備 積 立 金	4,152,497,978	3,595,025,571	3,239,931,627	2,707,384,244	2,081,271,161	2,048,048,854
繰 越 損 益 金	△ 13,263,445,217	△ 17,959,486,329	△ 14,621,112,414	△ 22,919,924,579	△ 30,627,076,372	△ 25,272,577,916

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(a) 経費控除後の配当等収益	723,578,083円	608,930,643円	776,053,988円	589,698,390円	516,916,463円	711,613,313円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	653,414,230	673,814,246	679,146,988	694,017,433	718,827,502	739,662,608
(d) 分配準備積立金	4,544,263,234	4,091,570,594	3,561,918,949	3,211,271,794	2,643,849,777	2,053,177,580
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	5,921,255,547	5,374,315,483	5,017,119,925	4,494,987,617	3,879,593,742	3,504,453,501
(f) 分配金	1,115,343,339	1,105,475,666	1,098,041,310	1,093,585,940	1,079,495,079	716,742,039
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	4,805,912,208	4,268,839,817	3,919,078,615	3,401,401,677	2,800,098,663	2,787,711,462
(h) 受益権総口数	123,927,037,686口	122,830,629,590口	122,004,590,003口	121,509,548,889口	119,943,897,718口	119,457,006,578口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
1 万 口 当 り 分 配 金	90円	90円	90円	90円	90円	60円
(単 価)	(8,334円)	(7,895円)	(8,128円)	(7,392円)	(6,652円)	(7,066円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

- 運用報告書（全体版）の電子交付について
2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。
- 書面決議手続きの改正について
重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
 - ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
 - ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
 - ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

★ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（年2回決算型）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
9 期末 (2013年 4 月 25 日)	円 19,523	円 10	% 27.4	22,270	% 29.0	% 97.9	百万円 3,763
10 期末 (2013年 10 月 25 日)	17,030	10	△12.7	19,642	△11.8	99.0	3,010
11 期末 (2014年 4 月 25 日)	18,446	10	8.4	21,437	9.1	98.3	2,904
12 期末 (2014年 10 月 27 日)	18,531	10	0.5	21,494	0.3	97.9	3,996
13 期末 (2015年 4 月 27 日)	17,839	10	△ 3.7	20,609	△ 4.1	98.3	2,534

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

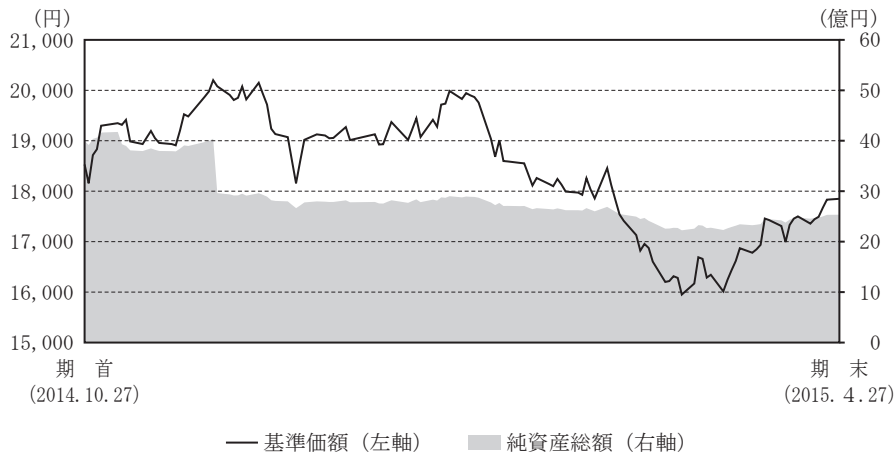
(注2) J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

■当期中の基準価額と市況の推移



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン ブロード・ブラジル (参考指数)	G B I - E M (円換算)	公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期首) 2014年10月27日	円	%		%	%
	18,531	—	21,494	—	97.9
10月末	19,298	4.1	22,361	4.0	98.5
11月末	20,079	8.4	23,310	8.4	99.3
12月末	19,013	2.6	22,032	2.5	98.5
2015年1月末	19,757	6.6	23,101	7.5	98.4
2月末	17,857	△3.6	20,686	△3.8	98.7
3月末	16,244	△12.3	18,722	△12.9	99.4
(期末) 2015年4月27日	17,849	△3.7	20,609	△4.1	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：18,531円 期末：17,839円（分配金10円） 騰落率：△3.7%（分配金込み）

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格や為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。しかし債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は上下に振れながら、期を通して上昇（債券価格は下落）しました。2014年10月の金融政策委員会（Copom）において、インフレ懸念から政策金利が上げられ、金融引締めサイクルは再開しました。その後も、インフレ圧力の抑制から継続的に追加利上げが実施されており、金利上昇要因となりました。期の前半は、ジョアキン・レビ氏を財務大臣とする新しい経済閣僚による健全な財政運営への期待感などで金利低下する局面もありましたが、原油価格やロシア株式市況の下落などによる投資センチメントの悪化から、他の新興国と同様に金利上昇となりました。期の後半は、新政権が発足し財政健全化への取り組みが市場から評価されたことなどから、金利低下する局面もありました。しかし、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題や財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたこと、ブラジル国債の格下げ懸念、またレアルの下落が追加的なインフレ懸念を強めかねないことなどが、金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円、対米ドルともに大きく下落しました。期の前半は、政策金利の引上げにより金利面からのサポートがありましたが、原油市況の下落を受け安全資産への逃避傾向が一時的に強まったことから、レアルは対米ドルで下落しました。2014年12月末にかけては、日銀の追加緩和や日本の衆議院選挙で自民党が勝利したことなどから円安が進行し、レアルは対円で横ばい推移となりました。期の後半は、ブラジル経済見通しの低迷等により投資センチメントが悪化したこと、ペトロブラス社の格下げや汚職捜査、政権に対するデモ等がレアルの悪材料となり、大きく下落しました。米国の好調なファンダメンタルズによる早期利上げ観測から米ドル高が進む中、レアル買いの為替介入プログラムが終了するとの見方が台頭したことや、財政健全化が政治的不透明感により遅れていることも重しとなりました。2015年4月にかけては、米国の早期利上げ観測が後退したほか、ペトロブラスが延期していた2014年第4四半期（10-12月）の決算発

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（年2回決算型）

表を行なうとの期待から上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

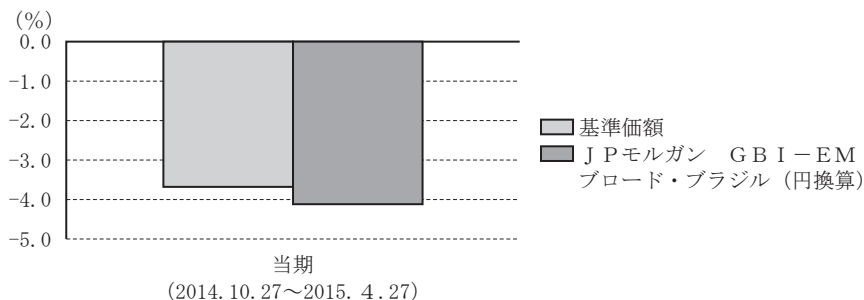
○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債に投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



◆分配金について

【収益分配金】

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2014年10月28日	～2015年4月27日
当期分配金（税込み）（円）	10	
対基準価額比率（%）	0.06	
当期の収益（円）	10	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	11,736	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	709.05円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	6,798.26
(d) 分配準備積立金	4,239.56
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	11,746.87
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	11,736.87

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・リアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2014.10.28~2015.4.27)		
	金 額	比 率	
信託報酬	132円	0.718%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は18,391円です。
（投信会社）	(47)	(0.255)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(81)	(0.442)	
（受託銀行）	(4)	(0.021)	
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	17	0.092	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(14)	(0.078)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に関するその他の費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	
（その他）	(2)	(0.010)	
合 計	149	0.810	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（年2回決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年10月28日から2015年4月27日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル・リアル債 マザーファンド	37,316	72,283	707,823	1,539,490

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド	1,959,037	1,288,530	2,553,094

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド	2,553,094	99.7
コール・ローン等、その他	6,910	0.3
投資信託財産総額	2,560,004	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月27日における邦貨換算レートは、1ブラジル・リアル=40.28円です。

(注3) ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(87,417,540千円)の投資信託財産総額(87,531,375千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,560,004,531円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,910,377
ダイワ・ブラジル・リアル債 マザーファンド(評価額)	2,553,094,154
(B) 負 債	25,733,286
未 払 収 益 分 配 金	1,420,649
未 払 解 約 金	3,510,081
未 払 信 託 報 酬	20,686,863
そ の 他 未 払 費 用	115,693
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,534,271,245
元 本	1,420,649,373
次 期 繰 越 損 益 金	1,113,621,872
(D) 受 益 権 総 口 数	1,420,649,373口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	17,839円

*期首における元本額は2,156,420,444円、当期中における追加設定元本額は143,963,393円、同解約元本額は879,734,464円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は17,839円です。

■損益の状況

当期 自2014年10月28日 至2015年4月27日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,570円
受 取 利 息	4,570
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 64,616,501
売 益	121,317,090
売 買 損 益	△ 185,933,591
(C) 信 託 報 酬 等	△ 20,802,556
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 85,414,487
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	294,745,678
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	905,711,330
(配 当 等 相 当 額)	(965,794,558)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 60,083,228)
(G) 合 計(D+E+F)	1,115,042,521
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,420,649
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	1,113,621,872
追 加 信 託 差 損 益 金	905,711,330
(配 当 等 相 当 額)	(965,794,558)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 60,083,228)
分 配 準 備 積 立 金	701,604,012
繰 越 損 益 金	△ 493,693,470

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	100,731,489円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	965,794,558
(d) 分配準備積立金	602,293,172
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,668,819,219
(f) 分配金	1,420,649
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,667,398,570
(h) 受益権総口数	1,420,649,373口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- <分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、4月27日現在の基準価額（1万口当り17,839円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

- 運用報告書（全体版）の電子交付について
2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に決めました。
- 書面決議手続きの改正について
重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
 - ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
 - ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
 - ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

運用報告書 第13期（決算日 2015年4月27日）

（計算期間 2014年10月28日～2015年4月27日）

ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・リアル建債券
運用方法	<p>①主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ．金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ロ．固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。</p> <p>ハ．投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

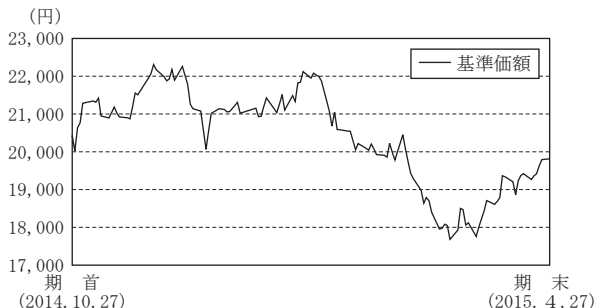
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EEM ブロード・ブラジル (円換算)	公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	%
(期首)2014年10月27日	20,432	—	21,494	97.7
10月末	21,285	4.2	22,361	99.0
11月末	22,175	8.5	23,310	99.1
12月末	21,021	2.9	22,032	98.5
2015年1月末	21,874	7.1	23,101	98.6
2月末	19,781	△ 3.2	20,686	99.3
3月末	18,014	△11.8	18,722	99.1
(期末)2015年4月27日	19,814	△ 3.0	20,609	97.6

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) JPMorgan GBI-EEM ブロード・ブラジル (円換算) は、JPMorgan GBI-EEM ブロード・ブラジル (ブラジル・レアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EEM ブロード・ブラジル (ブラジル・レアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：20,432円 期末：19,814円 騰落率：△3.0%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券価格や為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。しかし債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は上下に振れながら、期を通して上昇 (債券価格は下落) しました。2014年10月の金融政策委員会 (Copom) において、インフレ懸念から政策金利が引上げられ、金融引締めサイクルは再開しました。その後も、インフレ圧力の抑制から継続的に追加利上げが実施されており、金利上昇要因となりました。期の前半は、ジョアキン・レピ氏を財務大臣とする新しい経済閣僚による健

全な財政運営への期待感などで金利低下する局面もありましたが、原油価格やロシア株式市況の下落などによる投資センチメントの悪化から、他の新興国と同様に金利上昇となりました。期の後半は、新政権が発足し財政健全化への取り組みが市場から評価されたことなどから、金利低下する局面もありました。しかし、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題や財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたこと、ブラジル国債の格下げ懸念、またレアルの下落が追加的なインフレ懸念を強めかねないことなどが、金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円、対米ドルともに大きく下落しました。期の前半は、政策金利の引上げにより金利面からのサポートがありましたが、原油市況の下落を受け安全資産への逃避傾向が一時的に強まったことからレアルは対米ドルで下落しました。2014年12月末にかけては、日銀の追加緩和や日本の衆議院選挙で自民党が勝利したことなどから円安が進行し、レアルは対円で横ばい推移となりました。期の後半は、ブラジル経済見通しの低迷等により投資センチメントが悪化したこと、ペトロブラス社の格下げや汚職捜査、政権に対するデモなどがレアルの悪材料となり、大きく下落しました。米国の好調なファンダメンタルズによる早期利上げ観測から米ドル高が進む中、レアル買いの為替介入プログラムが終了するとの見方が台頭したこと、財政健全化が政治的不透明感により遅れていることも重しとなりました。2015年4月にかけては、米国の早期利上げ観測が後退したほか、ペトロブラスが延期していた2014年第4四半期 (10-12月) の決算発表を行なうとの期待から上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

ブラジルのファンダメンタルズ見通しや金融政策見通し等を考慮し、ブラジル国債を中心に組入れることで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、名目債 (一般に割引債と利付債をいいます。) と物価連動債の双方からなるブラジル国債に投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用 (保管費用)	19 (17)
(その他)	(2)
合 計	19

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公社債

(2014年10月28日から2015年4月27日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・リアル 1,577,428	千ブラジル・リアル (1,844,451 －)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2014年10月28日から2015年4月27日まで)

当			期		
買	付	金 額	売	付	金 額
銘	柄		銘	柄	
		千円			千円
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2016/8/15	21,032,638	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/1/1	26,156,093
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2016/1/1	16,125,807	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2018/1/1	20,492,498
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2025/1/1	12,684,849	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/4/1	7,221,073
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/7/1	7,990,845	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2025/1/1	6,465,997
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/4/1	7,473,837	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2018/8/15	5,795,864
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2018/8/15	2,516,812	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2030/8/15	3,239,139
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2045/5/15	911,579	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2024/8/15	2,416,586
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2055/5/15	910,773	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2022/8/15	1,854,993
			Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/7/1	1,814,293
			Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2017/7/1	1,534,738

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ブ ラ ジ ル	千ブラジル・レアル 1,804,500	千ブラジル・レアル 2,117,695	千円 85,300,760	% 97.6	% -	% 20.8	% 1.5	% 75.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千ブラジル・レアル	千円	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	5,000	12,910	520,036	2017/05/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	9,000	23,132	931,774	2020/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	200,000	516,712	20,813,159	2016/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	15,000	38,866	1,565,524	2040/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	19,500	50,371	2,028,968	2045/05/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	18,000	46,474	1,872,002	2035/05/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	9,000	23,306	938,767	2050/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	7,000	17,964	723,610	2018/08/15
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	-	815,000	746,597	30,072,929	2016/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	-	261,000	224,580	9,046,084	2016/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	-	148,000	144,738	5,830,049	2015/07/01
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国 債 証 券	10.0000	286,000	246,692	9,936,760	2025/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	-	3,000	2,155	86,812	2018/01/01
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	9,000	23,194	934,279	2055/05/15
合 計	銘 柄 数 金 額	14銘柄		1,804,500	2,117,695	85,300,760	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	85,300,760	97.5
コール・ローン等、その他	2,230,614	2.5
投資信託財産総額	87,531,375	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月27日における邦貨換算レートは、1ブラジル・リアル=40.28円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(87,417,540千円)の投資信託財産総額(87,531,375千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	88,801,624,950円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	172,624,492
公 社 債(評価額)	85,300,760,642
未 収 入 金	2,482,756,894
未 収 利 息	647,113,704
前 払 費 用	198,369,218
(B) 負 債	1,363,493,000
未 払 金	1,288,960,000
未 払 解 約 金	74,533,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	87,438,131,950
元 本	44,129,979,420
次 期 繰 越 損 益 金	43,308,152,530
(D) 受 益 権 総 口 数	44,129,979,420口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	19,814円

*期首における元本額は50,389,301,304円、当期中における追加設定元本額は47,707,932円、同解約元本額は6,307,029,816円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(毎月分配型)42,841,449,010円、ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(年2回決算型)1,288,530,410円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は19,814円です。

■損益の状況

当期 自2014年10月28日 至2015年4月27日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,190,192,232円
受 取 利 息	4,190,046,956
そ の 他 収 益 金	145,276
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 6,746,361,395
売 買 益	1,552,444,813
売 買 損	△ 8,298,806,208
(C) そ の 他 費 用	△ 88,136,521
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 2,644,305,684
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	52,563,755,330
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 6,655,541,184
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	44,244,068
(H) 合 計(D+E+F+G)	43,308,152,530
次 期 繰 越 損 益 金(H)	43,308,152,530

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託(当ファンドは該当します。)には適用されなくなりました。